

京都創生

KYOTO SOUSEI

第15号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

～平成29年度に文化庁の一部を先行移転～ 「地域文化創生本部(仮称)」を京都に設置

今年3月22日、国の政府関係機関移転基本方針が発表され、文化庁の京都への全面的な移転が決定しました。また、8月には「文化庁の移転の概要について」が取りまとめられ、文化庁の機能強化の方針、移転に向けた今後の進め方が明らかとなりました。

従来の保護中心の文化行政から、文化と観光・産業、教育、大学、まちづくり等のあらゆる分野とを融合・連携させた新たな文化行政へと転換を果たす強い決意が込められたものとなっています。京都としても、衣食住の生活文化、地域の絆、自然との共生、おもてなしの心などが今も息づく京都の特性を最大限に生かし、文化の力で日本を元気にし、世界の平和に貢献するため、全力で取り組んでいきます。



第2回文化庁移転協議会

■「文化庁の移転の概要について」の主な内容

1. 文化庁の機能強化の方針

- 文化芸術を資源としてとらえ、文化芸術への投資を新たな社会の発展、経済成長にもつなげていくために、文化行政の大胆な転換が必要
- 従来の文化芸術の範囲に閉じることなく、観光・産業、教育、福祉、まちづくり等の様々な関連分野との連携を強化し、総合的に施策を推進

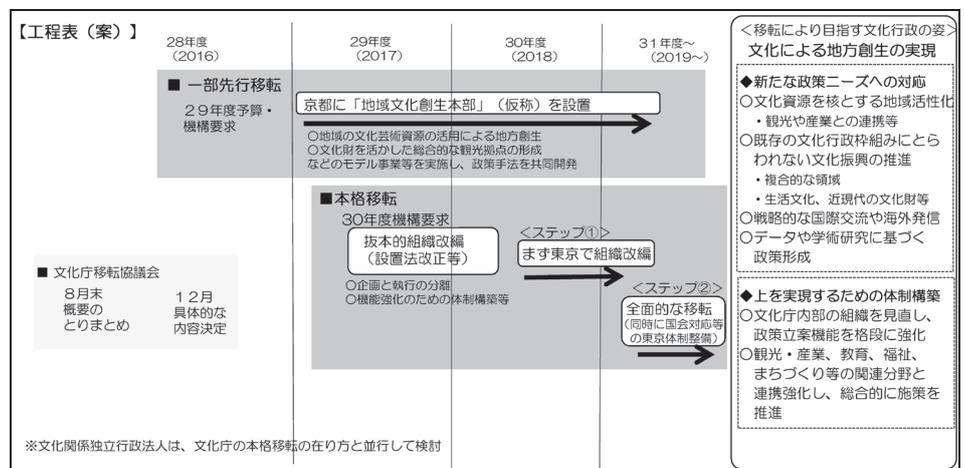
2. 移転に向けた今後の進め方(工程)

○基本的な考え方

文化庁の全面的な移転に向け、国民の理解を得ながら文化庁の機能強化及び組織の抜本的改編を行うため、計画的・段階的に進める。

○先行移転

- ①平成29年度から、文化庁の一部を京都に移転し、「地域文化創生本部(仮称)」を立ち上げる(30名程度)。



文化庁作成資料より抜粋

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

②具体的には、京都・関西地域の協力を得て以下のような事業を実施する。

- ・食を含む生活文化等の地域の文化芸術資源と伝統産業、先端産業、コンテンツ産業をはじめとするものづくりの分野との連携により地方創生や経済活性化を促進する拠点形成事業等
- ・文化財を活かした総合的な観光拠点の形成や、伝統文化・生活文化を活かした広域文化観光の実現にかかるモデル事業等
- ・2017(平成29)年の「東アジア文化都市」に指定された京都市の人的交流・文化協力を促進させる事業
- ・政策調査研究機能の充実等

○本格移転

- ①組織改編については、平成30年1月からの通常国会を目途に関連法案を提出するが、早期移転を目指し、移転場所については、28年内を目途に、候補地を選考し、29年8月末を目途に、具体的な庁舎の場所、費用負担のあり方等を決定する。
- ②独立行政法人のあり方については、抜本的な組織改編の検討と並行して検討を進める。

シンポジウム 京都から、日本の未来を展望する

日時 平成28年11月12日(土) 14:00～16:30

会場 ロームシアター京都「サウスホール」

京都市では、文化庁の京都への全面的な移転決定を受けて、文化力で日本を創生し、世界に貢献するため、シンポジウムを開催しました。

開催に当たり、オープニングで茂山良暢さん、山口耕道さんによる狂言「寝音曲」を披露いただいた後、門川大作市長の挨拶に続き、「京都から、日本の未来を展望する」をテーマに、池坊専好氏(華道家元池坊次期家元)、佐々木雅幸氏(同志社大学特別客員教授・文化庁文化芸術創造都市振興室長)、ジェフ・バーランド氏(京都外国語大学教授)、増田寿幸氏(京都経済同友会代表幹事)をパネリストにお迎えし、山極壽一氏(京都大学総長)のコーディネートによりパネルディスカッションを行いました。

文化庁の京都への全面的な移転の意義、文化を基軸とした国づくりに向けての京都の役割について考える機会となりました。



狂言「寝音曲」



パネルディスカッションの様子

本誌面のシンポジウムの模様は、下記ホームページからご視聴いただけます。

(アドレス <https://www.youtube.com/watch?v=OgKJf2Dnt0o>)



京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」第27弾が登場!

京都創生推進フォーラムと京都市では、京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」を発行しています。

第27弾となる今回は、京都のいにしえよりの生活文化がテーマです。京町家の外観に据えられた正月の花飾りは、主張しすぎることなくそっと景観に溶け込みながらも、華やかなアクセントとなる京都の季節の風物詩です。何気ない風景にも歴史に培われ、磨かれ、息づく文化があります。

文化庁の京都への全面的な移転決定を契機に、文化の力で日本を創生し、世界に貢献していきます。

このポスターを多くの方にご覧いただき、改めて京都がもつ歴史的・文化的資産の素晴らしさを再認識していただくとともに、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えております。

※本ポスターと同デザインの京都市営地下鉄「1dayフリーチケット」も発売予定です!



シンポジウム 京都創生推進フォーラム

京都創生推進フォーラムと京都市では、京都創生の実現に向けた市民の皆様による自主的な活動を推進するために、毎年シンポジウムを開催しています。今年、オープニングで、(公社)能楽協会京都支部の皆様による素謡「頼政」を披露していただいた後、「京都から始まる日本文化の創生—文化庁の京都移転の先—」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

日時 平成28年7月27日(水) 13:30～16:00

会場 ロームシアター京都「サウスホール」



パネルディスカッションの様子

パネルディスカッション

「京都から始まる日本文化の創生—文化庁の京都移転の先—」

パネルディスカッションでは、文化庁の京都への全面的な移転決定を受けて、歴史と伝統を受け継ぎながら、世界の人々を魅了してきた「京都」から始まる新たな日本文化の創生について、私たちができることを考えました。

◎パネリスト

■小林 一彦氏 (京都産業大学日本文化研究所 所長)

京都は14万人以上の大学生を有する、全国でも有数の学生のまちでもあります。私は地域と大学の交流を活発にする活動を続けており、主体的に学生が行動するアクティブラーニングや、就業体験から学ぶインターンシップなどを通じて現場経験を積むことで、地方都市から国を元気にしていく活動を担う人材が育つことを願っています。

■畑 正高氏 (株式会社松栄堂 代表取締役社長)

仏教行事に線香は不可欠であるとともに、近年もアロマオイルが流行するなど、香は日常生活に溶け込んでいます。室町時代、武士や貴族たちから発した東山文化が庶民の力を大きく巻き込んだように、京都は、伝統文化の粋は守りつつ、渡来文化や、前衛文化も融合させながら、新たな方向を探ることも重要と考えます。

■濱崎 加奈子氏 (公益財団法人有斐斎弘道館 代表理事)

京都の伝統文化は、長い歴史を経て多くの分野に細分化され深化しています。簡潔に説明することは非常に困難であり、訪問客等の聞く側にも古典文学など基礎的な教養を有してほしいところです。現代は感性の教育に偏重し、知識量を主とする知性の教育が不足しており、京都文化を理解するためには、感性・知性両面から捉えたいものです。

■森口 邦彦氏 (友禅作家、重要無形文化財「友禅」保持者)

私が大学卒業後に留学したパリを首都とするフランスでは、半世紀も前から、多彩な人材を育成しながら文化・芸術活動を活性化させていく「文化の家」を各地域に置いており、最近になって地方都市再生や国政参画などで活躍する人材が出てきました。人材育成は長期の時間軸で考える必要があります。京都でも伝統文化だけでなく、前衛芸術など個性ある人材を集めて育てる場が必要です。

◎コーディネーター

■宗田 好史氏 (京都府立大学副学長)

自由な創作活動は活力ある社会には必須です。多くの人々が楽しく文化に触れる中心施設を各地域につくる必要があります、それは地方都市再生にもつながります。いまこそ京都は、文化力によってまちを維持・発展させる地方創生モデルを全国へ発信することが求められています。



(顔写真提供:京都新聞社)

本誌面のシンポジウムの模様は、下記ホームページからご視聴いただけます。
(アドレス <https://www.youtube.com/watch?v=3EclgyTxnJU>)



イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。
(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
いちごいちえの会 シンポジウム (京町家ちおん舎)	いちごいちえの会、平成28年12月と平成29年1月、京町家にてシンポジウムを開催	12/24(土) 市田ひろみ先生 平成29年1/16(月) 近藤誠一先生 両日とも 14:00~16:00	ちおん舎 (京都市中京区衣棚三条上ル突抜町126)	2,000円	要	茶匠 井六園 (075-661-1691)
第27回 New Year 箏・三弦 Salon Concert	正派ゆきの会からの邦楽の発信の場であり、会員の勉強の場です。	平成29年1/9(月・祝) 14:00~16:00	ザ・パレスサイドホテル2F (京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町380)	無料	不要	正派ゆきの会 小島 雅楽幸 (075-752-4539)
漬物教室	ぬか漬の作り方、おいしさや長持ちの秘訣体験	平成29年1/10(火) ~2/28(火) (但し、日・祝日を除く) 10:00~11:30 14:00~15:30	川勝總本家 (京都市下京区大宮通五条上ル上五条町394)	2,160円	要	(株)川勝總本家 (075-841-0131)
第29回京都美術文化賞 受賞記念展	第29回受賞者の森田りえ子、松井利夫、ヤノベケンシの3氏による展覧会	平成29年1/13(金) ~1/22(日) (1/16休館) 10:00~18:00 (最終日は16:30まで)	京都文化博物館 5階展示室 (京都市中京区三条高倉)	無料	不要	公益財団法人 中信美術奨励基金 (075-223-8385)
総合防火訓練	国宝の本殿を出火元とした防火訓練を、消防本部合同で行います。	平成29年2/12(日) 9:00~10:00	石清水八幡宮 御本殿前 (京都府八幡市八幡高坊30)	無料	不要	石清水八幡宮 (075-981-3001)
伏見稻荷大社	稲荷大神が和銅4年2月初午の日にはじめてご鎮座された事に因みます。	平成29年2/12(日) 終日	伏見稲荷大社 (京都市伏見区深草藪ノ内町68)	無料	不要	伏見稲荷大社 (075-641-7331)

- 各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。
- 内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

東京をはじめとする首都圏の皆様へ

京都創生PR事業

東京で、あなただけの「京都」を見つけましょう。そして、「京都の未来」を一緒に考えてください。

in 東京 2017 2月4日(土)~3月5日(日)

恋する京都ウィークス

抽選で京都の名産品が当たるスタンプラリーも実施します

東京都内各所で、京都の魅力を体感できる催しを開催!

[主催]京都市 京都商工会議所
公益社団法人京都市観光協会 京都創生推進フォーラム

京あるき 検索



京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」 第15号

発行日 平成28年12月6日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局: (公財) 京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)